

ため池ハザードマップ(大谷溜・台ノ沢溜)

おお や だめ だいの さわ だめ



主要地方道 黒磯黒羽線

松葉川

両郷地区公民館 (両郷地区コミュニティセンター)

両郷中央小学校

中野内公民館

主要地方道 那須黒羽茂木線

旧両郷中学校

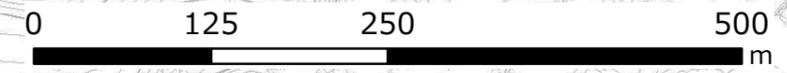
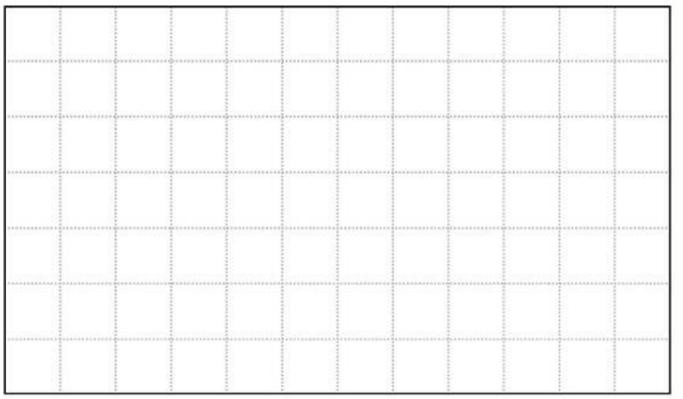
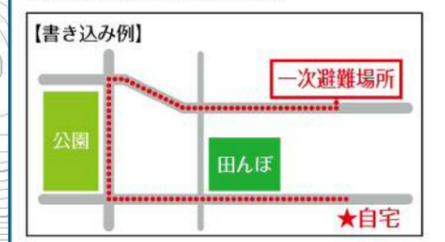
台ノ沢溜 諸元	
堤 高:	2.8m
総貯水量:	400 ^m
【25mプール 約1杯分】	
※プールは約600 ^m	

大谷溜 諸元	
堤 高:	2.3m
総貯水量:	800 ^m
【25mプール 約1杯分】	
※プールは約600 ^m	

- 浸水深
- 20m~
 - 10m ~ 20m
 - 5m ~ 10m
 - 3m ~ 5m
 - 1m ~ 3m
 - 0.5m ~ 1m
 - ~0.5m
 - ⊗ 破堤点
 - 🏠 一時避難場所
 - 浸水到達時間

わが家の避難経路

防災マップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。
実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。



1:5,000

大雨に関する情報

●大雨時に発表される情報

気象状況		気象庁が発表する情報	
大雨の数日～約1日前	数日後までに警報級の現象発生の可能性が予想され、大雨の可能性が高くなる。	気象情報(随時)	警報級の可能性 ●天気予報や週間天気予報と同じタイミング、地域ごとに発表 ●5日先までの警報発表の可能性を表示
大雨の半日～数時間前	雨が降り始める		●気象状況の変化をより詳しく提供
大雨の数時間～2時間程度前	雨が強さを増す	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報	警報・注意報 ●危険度の高まる時間帯を色分けし発表
	大雨となる		大雨警報・洪水警報の危険度分布で、危険度が高まる
	大雨が一層激しくなる		●重大な災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険な状況 ●重大な災害が既に発生しているにもかかわらず 極めて危険な状況 ●これまでに経験したことのないような大雨となり、 重大な危険が差し迫った異常事態
	広い範囲で数十年に一度の大雨		

気象庁では気象警報・注意報に関する情報を公開しています ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

もしも、ため池の堤防が壊れたら

●掲載している浸水区域について

ため池が常時満水時に決壊した場合の最大浸水区域を示したものです。

実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況により異なる可能性があります。

大規模地震により堤防が破損、大雨で増水



ため池決壊想定イメージ

破損した堤防が貯水に耐え切れず「決壊」



●こんなとき、ため池が危ない!!

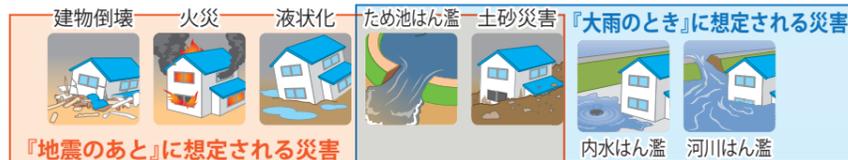
- 大雨時**
- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
 - 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 - 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

- 地震時**
- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

避難をする時に注意すること

○ため池決壊以外の災害も意識する

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で右図のような災害も発生している可能性があることに注意して避難しましょう。



○危険な場所は避ける

できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう。

自宅に留まることも選択肢の一つ
浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。

家庭の浸水を軽減する方法『ゴミ袋による簡易水のう』
40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これを段ボール箱に入れ、連結して使用します。

ご自身の判断で行動してください

ため池ハザードマップに示されている浸水区域は、あくまでも想定された計算上のシナリオをもとにしたものです。

実際のため池決壊による浸水区域はこのシナリオどおりに発生するとは限りませんので、気象情報や避難情報など、周辺の状況に注意を払って、ご自身の判断で適切な行動をとってください。



避難をするなら浸水前に早めの避難を!



浸水後も安全に自宅滞在が可能なら家屋や家財の被害軽減を!



大谷溜・台ノ沢溜ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

緊急時の連絡先

危機管理課	本町1-4-1	(0287) 23-1111 (0287) 23-1115	警 大田原警察署	紫塚1-1-4	(0287) 24-0110
市 黒羽支所総合窓口課	黒羽田町848	(0287) 54-1111	察 黒羽幹部派出所	大豆田303-4	(0287) 54-0110
両郷出張所	中野内773	(0287) 59-0111	那須赤十字病院	中野内798	(0287) 59-0043
道路課	本町1-4-1	(0287) 23-8717	那須中央病院	中野内1081-4	(0287) 23-1122
県 栃木県大田原土木事務所保全第一課	紫塚2-2564-1	(0287) 23-6543	【電気】	東京電力カスタマーセンター栃木	0120-995-112
消防 那須地区消防組合 大田原消防署	中野内868-12	(0287) 28-5119	【電話】	NTT東日本(故障等問合せ先)	0120-444-113
那須地区消防組合 黒羽分署	黒羽向町1009-1	(0287) 54-1144	【水道】	大田原市役所水道課	(0287) 23-8713

災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音 171 + 1 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) → 録音

伝言の再生 171 + 2 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) → 再生

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
かかりつけの病院とその連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先

【お問い合わせ先】 大田原市産業振興部農林整備課 TEL0287-23-8126